

令和5年度

全国学力・学習状況調査の
結果分析と今後の取組

令和5年10月
大紀町教育委員会

目 次

令和5年度 全国学力・学習状況調査の 結果分析と今後の取組について	1
七保小学校の結果分析と今後の取組について	2
大宮小学校の結果分析と今後の取組について	3
大紀小学校の結果分析と今後の取組について	4
錦小学校の結果分析と今後の取組について	5
大宮中学校の結果分析と今後の取組について	6
大紀中学校の結果分析と今後の取組について	7

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組について

令和5年10月
大紀町教育委員会

本年4月18日に「全国学力・学習状況調査」が、実施されました。小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に行われ、その結果が、7月末に文部科学省から公表されました。

大紀町教育委員会では、各校の代表者等で組織する大紀町学力向上推進委員会を設置し、町内の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証して、その改善を図っています。また、各校においても調査結果を受けて授業改善を進めるとともに、児童生徒の実態に応じた、実効性の高い教育活動を模索し、取り組んでいるところです。学力の定着と向上には、ご家庭ならびに地域の皆様の協力が不可欠です。各校の分析結果を「強み」「弱み」として表すとともに、改善に向けた方策や皆様方をお願いしたい事項をまとめましたので、ご協力くださいますようお願いいたします。

（１）教科に関する調査結果から

①小学校について

漢字や計算等の基礎基本を問われる問題では、正答率が高い傾向があります。また「無回答」が少ないことから、途中で諦めることなく、最後まで粘り強く問題に取り組もうとする姿勢が伺えます。しかし、「思考力や判断力、表現力」を記述式で問われる問題には、課題がありました。これからも、基礎基本の定着を一層進め、わかりやすく楽しい授業を展開し、子どもたちが自らの考えを出し合い、協力し合いながら課題を解決していく授業を目指します。

②中学校について

中学生についても、漢字や計算等の基礎基本を問われる問題の正答率が高く、学校や家庭学習で繰り返し取り組んできた成果が表れています。しかし、論理的に思考し、表現する力に課題が見られます。今後も、子どもたちが自ら学ぶ意欲を身に付けられようタブレット端末をさらに有効活用しながら、協働的に課題を解決していく授業を目指します。

（２）質問紙調査の結果から

これまでの家庭の取り組みにより、早寝、早起き、朝ごはんの基本的な生活習慣が身に付いてきている様子が伺えました。朝食を毎日食べている児童生徒は、食べていない児童生徒に比べ、正答率が高い傾向があり、基本的な生活習慣と学力との関係が見えてきました。また、「新聞を読む」、「読書が好き」という項目に対してよく読んでいたり、好きと答えていたりする児童生徒の方が正答率が高い傾向も見えてきました。読書は語彙力や思考力、想像力等を高めるうえで不可欠です。さらなる読書習慣の定着に向け、図書室の環境整備を進め、子どもたちが様々な本と出会い、学ぶことができるよう読書活動の充実に努めます。

七保小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

① 国語科について

- 【強み】・ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること
 - ・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること
- 【弱み】・ 複数の情報を用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
 - ・ 文章を構造的に捉えたり、情報と情報の関係を整理し理解したりすること

② 算数科について

- 【強み】・ 基礎的な計算をしたり、図形の性質や構成を理解したりすること
 - ・ 伴って変わる二つの数量について変化の特徴を読み取ること
- 【弱み】・ 式や筆算の意味、図形の面積の大小、グラフの種類の違いなどについて、言葉・数・図などを用いて説明すること
 - ・ 百分率で表された割合を求めたり、二次元表から条件に合う数を読み取ったりすること

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・ 授業でわかった点、よくわからなかった点を次の学習につなげている。
 - ・ 生活習慣や学習習慣、読書習慣が身に付いている。
 - ・ 学級活動や道徳科で、互いの考えから学びながら、考えを深めている。
- 【弱み】・ 規範意識、自己有用感がやや低い児童もいる。
 - ・ 自分と違う意見について考えるのを楽しいと思わない児童もいる。

(3) 全体を通して

日頃、各学年で根拠を明らかにして発言したり、条件に合わせて書いたりすることで基礎的な学力が身に付いています。一方で、国語で複数の条件に合わせて書いたり、算数で情報過多の問題で必要な情報を選択して求めたりすることに課題が見られるので、今後は活用力の育成を一層図ります。

調査結果は全国平均や県平均と比べて高く、質問紙に目を向けると、国語や算数の大切さや内容を理解できていますが、中には、その教科があまり好きではない児童も見られます。小規模校の特性を活かして、一人ひとりの学習への関心を高め、学ぶことの意義を実感できる授業づくりに努めます。

(4) 家庭や地域へのお願い

本校では、学校教育目標「心やさしく 考え、動く」を掲げて、目的意識や相手意識を持ち、主体的に考え、判断し、行動する児童の育成に努めています。家庭では、早寝・早起き・朝ご飯などの生活習慣や、自分で計画を立て学習に取り組む習慣、平日でも半時間から1時間程度の読書習慣が育っています。引き続き、生活習慣、学習習慣、読書習慣の維持をご支援ください。

また、質問紙から、将来の夢や目標を持っている児童や、総合的な学習の時間に意欲的に取り組む児童が多いのは、家庭や地域の日頃の各教科等へのご協力によるところが大きいと考えられます。今後とも、ご協力をお願いします。

大宮小学校の結果分析と今後の取組について

（１）教科に関する調査結果から

① 国語科について

【強み】・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること

- ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること

【弱み】・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること

② 算数科について

【強み】・直線の平行や垂直の関係について理解すること

- ・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること
- ・データを二つの観点から分類整理する方法を知ること

【弱み】・図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと

（２）質問紙調査の結果から

【強み】・早寝、早起き、朝ごはんなど、家庭での基本的生活習慣が定着している。

- ・地域行事への参加など、地域との繋がりが強い。

【弱み】・読書は好きだが、校外での読書時間が少ない。

- ・平日や休日の学校の授業時間以外の学習時間が少ない。

（３）全体を通して

学習においては、どの学年も概ね落ち着いて授業に取り組む姿が見られ、国語の読み取りや計算の技能など、基礎的な学力が着実に身に付くよう粘り強く指導しているところです。現在、学校では、自分の考えや気持ちを筋道立てて（論理的に）表現できる力をつけることに焦点を当て、低学年から高学年まで、学校全体で授業改善に取り組んでいます。また、学習内容が日常生活に結び付いてこそ本当の力であるということも意識して取り組んでいます。

（４）家庭や地域へのお願い

家庭での生活習慣は安定しています。また、地域との繋がりが強いです。基本的な生活習慣の確立はすべての基盤になります。引き続きよろしくお願いします。ただ、家庭学習や読書の時間や計画性については、個人差が見られるので、家庭学習・読書の習慣化への取組をお願いします。子どもの成長には、学校・家庭・地域の連携が一番大切です。今後も子どもの成長を真ん中に置いた信頼関係と支援をお願いします。

大紀小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・漢字、送り仮名等の既習事項、基礎学力の定着
 - ・選択式の問題への対応力
- 【弱み】・複数の条件に対応して文を書くこと
 - ・話し手の意図と要旨をとらえること

②算数科について

- 【強み】・数の変化と関係を捉える力
 - ・基礎的な計算力
- 【弱み】・何を問われているのか、正しく問題文を捉える力
 - ・図形の面積を求めること

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・自分には、良いところがあるという意識が強い。
 - ・いじめはいけないことであるという意識が強い。
 - ・友達関係に満足している。
- 【弱み】・家で読書をしたり、新聞を読んだり、活字とふれあう機会が少ない。
 - ・家庭での学習時間が少ない。

(3) 全体を通して

既習事項を覚えていても、条件に合わせるなど、いつもと違う問われ方がされると、正答できない傾向があります。条件付きの問題や活用問題に取り組ませていくことの必要性を感じます。

子どもたちは、学習だけでなく、友だちとの関係や最高学年としての行動なども大切だと認識し、頑張りたいという気持ちを強く持っています。今後は授業だけでなく、家庭学習や自主学習への取組など、主体性を持って学ぶ力をさらに育成していきます。また、本をたくさん読むことで思考力、判断力、想像力、文章力、語彙力、コミュニケーション能力の向上に努めます。

現在、全校で「わかる授業」に向かう授業改革を進めるとともに、様々な条件に応じて文章を書く力を育成するためのプログラムに低学年から取り組んでいます。

(4) 家庭や地域へのお願い

本校では学校教育目標を「わたしが創る よりよい学校」と掲げ、子どもたちの自主性を大切に教育活動に取り組んでいます。その中で、児童会や委員会を中心に「自分たちで考え、計画し、実践する」という流れを大切にしています。

ご家庭や地域でも、子どもたちが興味・関心のあることへ挑戦することや基本的な生活習慣を確立することを応援し、「学びに向かう力」の育成にご協力をお願いします。

錦小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・各学年で学習した漢字を文の中で正しく使うこと
 - ・送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うこと
- 【弱み】・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表すこと
 - ・目的や意図に応じ話の内容を捉え、話し相手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめ書き表すこと

②算数科について

- 【強み】・伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数量をもとめること
 - ・正方形や台形の意味や性質について理解できていること
 - ・「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ること
- 【弱み】・示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見つけた違いを言葉と数を用いて記述すること
 - ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述すること

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・起床、朝食、就寝などの規則正しい生活習慣が身についている。
 - ・全員が、人の役に立つ人間になりたいという思いをもつこと
- 【弱み】・家庭学習の習慣化があまりできていない。
 - ・日頃から家庭で新聞を読む機会が少ない。

(3) 全体を通して

本校では、『学び合い・やりぬく子の育成』に向け、「主体性・協働性」「表現力・対話力」「学びに向かう合う力」の大きく3つの力の育成に取り組んでいます。それには、複式学級であるが故の「わたりの授業」が効果的であると考えています。また、自分の気持ちや考えを特に文章で表現しにくいという今の課題に対しては、「書くこと」に重点をおいた「作文」や「日記」の取り組みを進めています。

(4) 家庭や地域へのお願い

- ・今後も引き続き、早寝早起き等の規則正しい生活習慣の維持をお願いします。
- ・与えられた課題だけではなく、自主的に自身の課題への取り組み、知識を広げるなど、家庭学習の充実と習慣化をお願いします。
- ・家庭学習については、タブレットの持ち帰りによる課題学習等、その活用をいっそう進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

大宮中学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査から

①国語科について

- 【強み】・平易な漢字、語句については、おおむね定着している。
 - ・記述問題において、与えられた枠に過不足なく書くこと。
- 【弱み】・語彙力が不十分で文脈から適切な漢字や語句を答える力。
 - ・基礎知識の習得と「てにをは」の理解が不十分。
 - ・指示された条件を満たして、考えをまとめる力。

②数学科について

- 【強み】・基礎基本の計算力は身につけている生徒が多い。
 - ・データ処理の分野は、比較的解ける生徒が多い。
- 【弱み】・用語の意味を説明するものや概念的な物事を考えること。
 - ・解答方法に条件がある問題で、それに合わせて記述解答すること。

③英語科について

- 【強み】・まとまりのある文章から概要を捉えたり、必要な情報をつかんだりすること。
- 【弱み】・「話すこと」テストでは、時間内に条件を満たしながら解答すること。

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・学習において「将来社会出た時に役に立つと思う」や「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が高い。
 - ・「人が困っているときは進んで助けている」や「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と回答した生徒の割合が高い。
- 【弱み】・「将来の夢や目標を持つこと」や「自分にはよいところがある」、「新聞を読むこと」についての割合が低い。
 - ・学級活動の話し合いで「互いの意見の良さを生かして解決方法を決める」、「自分が努力すべきことを決めて取り組む」と回答した生徒の割合が低い。

(3) 全体を通して

生徒は、規範性や学習への興味関心を高く持ち、落ち着いた環境の中で授業に参加できています。これからも一人ひとりが認められる仲間づくりの取組を進めるとともに、将来の夢や仕事について考えさせる指導を充実させ、話し合い活動を生かして主体的に課題解決へ向かう力をつけられるよう、更なる学力向上に努めていきます。

(4) 家庭や地域へのお願い

学習以外でも携帯やスマートフォン等を使用する機会は増加しています。正しく安全に利用するための家庭内でのルール等を設けてください。また、一人一台端末を持ち帰り、家庭学習の習慣化を図っております。家庭での見守りをお願いします。

大宮中学校は、これからも、子どもの可能性や良さを引き出し伸ばしていく取組を継続していきたいと考えております。ご家庭や地域でもご協力をお願いします。

大紀中学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

- 【強み】・平易な内容の文章を読み取り、それに対応した解答ができること
・書く問題を無解答で終わらせず、書こうとする姿勢を持っていること
- 【弱み】・難しい漢字の使用。
・文章を論理的に整理して読む、書く力が十分定着していないこと

②数学科について

- 【強み】・基礎的な計算力が定着していること
・「なぜかな」と思うことに対する探究心が高いこと
- 【弱み】・既習事項が定着しきれないこと
・質問の意図を汲み取りながら、それに応じた解答ができないこと

③英語科について

- 【強み】・真面目に問題に取り組み、最後まで解答しようと努力すること
・比較的平易な表現を聞いて、その内容や状況を思い浮かべられること
- 【弱み】・基礎基本的な構文や語彙が十分定着していないこと
・平易な表現を用いて、表現する力が十分身についていないこと

(2) 質問紙調査の結果から

- 【強み】・学校に行くのが楽しいと感じている生徒の割合が高くなり、将来の夢や希望を持ち、失敗を恐れず挑戦しようとする力がついてきている。
また、人が困っている時は、進んで助ける。いじめは、どんな理由があってもいけない等思いやりがあり、規範意識が高い。
・地域行事に積極的に参加し、地域や社会をよくするために何をすべきか考える生徒の割合が非常に高く、地域を大切にしている。
- 【弱み】・学習に対する取り組み方が受け身の傾向にあり、自分で立てた目標に向けて、計画的かつ段階的な学習に取り組む姿勢が弱い。
・授業でICT機器を使って調べたり、意見交換をしたりする場面での活用頻度は昨年度より増えているが、継続的に取り組む必要がある。
・読書が好きな生徒は多いが、新聞等、難解で長い文を敬遠する傾向が見られ、論理的に読みこなす力が十分に身についていない。

(3) 全体を通して

基本的な生活習慣が確立し、規範意識も高く人の役に立ちたいと思っている生徒の割合が高いです。落ち着いた授業態度で、学習意欲も高いです。

一方で既習事項の定着や読解力・表現力に課題が見られます。全ての授業を通してそれらを育む指導に重点をおき取り組みます。その手立てとして、基礎基本を大切に、互いの考えがうまく伝わるための工夫やICT機器の活用等を進めます。

(4) 家庭や地域へのお願い

家庭学習の時間が依然として短く大きな課題です。理由としてはSNSや動画・ゲームに費やす時間が長く改善が必要です。スマートフォン等の使用について、再度、家庭におけるルール作りをお願いします。

自己肯定感を高め、あいさつができる子どもを育みたいと考えています。今後、家庭での励ましの声掛けや見守りをお願いします。